

【発行元】東北大学 血液・免疫病学分野（東北大学病院 血液免疫科）

Address: 〒980-8574 仙台市青葉区星陵町 1-1 Tel: 022-717-7165 / Fax: 022-717-7497

Homepage: <http://www.rh.med.tohoku.ac.jp/>

【本号の内容】

1. 巻頭言
2. 当科関連行事予定
3. 人事異動のお知らせ
4. 血液免疫病セミナーのご案内
5. 学会参加予定（日本血液学会学術集会）
6. 日本リウマチ学会東日本地方会開催のご案内
7. 当科業績紹介



1. 巻頭言

今回は、最初に当科にとって大変うれしいニュースをご報告します。一研 OB で分子生物学分野准教授の古山和道先生が岩手医科大学生化学教室の教授にご栄転されました。古山先生は私と二内の同期入局で、医化学、ロックフェラー大学とずっと一緒に臨床・研究を続けてきた仲間ですので、個人的にも本当にうれしいニュースでした。仙台と盛岡ということで距離的にも近く、これまで通り共同研究を続けていきたいと思えます。

さて、医局も夏休み気分が終了し、学会シーズンがやってきました。10月の日本血液学会、11月のアメリカリウマチ学会、12月のアメリカ血液学会と大きな学会が続きます。今年には日本血液学会に12題を応募し、多くが口演として採択されました。論文も連続して掲載されていることから、学会発表とあわせその内容の一部を本号で紹介させていただきます。また、11月には日本リウマチ学会北海道・支部学術集会を仙台で開催いたします。来年7月には日本検査血液学会、9月には日本鉄バイオサイエンス学会を仙台にて開催予定で、あわただしい一年になりそうです。

また、いよいよ2つの医師主導治験の患者エントリーが始まります。一つは医薬品治験の「難治性SLEに対するボルテゾミブ療法」もう一つは医療機器治験の「難治性皮膚潰瘍に対する衝撃波療法」です。特に後者については官邸の健康・医療戦略推進本部でも取り上げられており、大きな注目を集めています。治験の成功には積極的な症例のリクルートが必要ですので、適格基準等につきましてはどんどん石井准教授までお問い合わせください。最後に毎年恒例の若手研修医向けの血液免疫学セミナーを11月9、10日に開催いたします。本セミナーは血液免疫病の診療・研究に携わる医師の育成に非常に重要な機会であり、先生方のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。（張替 秀郎）

2. 当科関連行事予定

- 11月9日(土)～10日(日) 血液免疫病セミナー2013
- 11月16日(土)～17日(日) 第23回日本リウマチ学会北海道・東北支部学術集会

3. 人事異動

7月から10月の間の当科における人事異動をお知らせいたします。異動される先生方の新天地でのご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

- 勝岡 優奈 先生（血液免疫科 助教）
8月 国立病院機構仙台医療センターへ赴任
- 齋藤 真一郎 先生（血液免疫科 講師）
10月 大崎市民病院へ赴任
- 井上 あい 先生（メディカルメガバンク(MMB) 助教）
MMBの地域医療支援事業により10月から4か月間、公立志津川病院、石巻赤十字病院に派遣

また、当科OBである分子生物学分野 准教授の古山 和道 先生が、岩手医科大学 生化学分野（分子医化学分野）教授にご就任されます。今後ますますの研究のご発展とご健勝をお祈り申し上げます。

4. 血液免疫病セミナーのご案内

本年度も恒例の血液免疫病セミナーを 11 月に開催します。昨年ご好評を頂いた case conference などの企画を含め、血液・免疫疾患の明日から使える実践知識と未来への展望を研修医の皆さんにお届けするべく、充実した内容を予定しております。夜にはささやかながら恒例の宴をご用意いたしております。御多忙の中とは存じますが、研修医の先生方とともに関連病院の先生方にも多数ご参加頂ければ幸甚に存じます。

日時 平成 25 年 11 月 9 日（土）12:00 ～ 11 月 10 日（日）10:00

会場 ホテルニュー水戸屋 〒982-0241 宮城県仙台市秋保町湯元字薬師 102

TEL; 022-398-2301 / FAX; 022-398-2242

One Step Beyond
— 血液免疫病学 この深淵な世界 —

血液免疫病セミナー2013

実りの秋, 美味しい酒と肴とともに“学びの秋”も満喫!
血液・免疫疾患の明日から使える実践知識と未来への展望をあなたに!

日時 2013年11月9日(土) 12:00
～ 10日(日) 10:00

場所 ホテルニュー水戸屋
仙台市太白区秋保町湯元薬師102 TEL: 022-398-2301

参加費 2,000円(宿泊費含む)

主催: 東北血液免疫研究会
共催: 公益財団法人 一泊記念READ血液アカデミー
事務局: 東北大学大学院医学系研究科 血液免疫学分野 区局長 藤井 博司
〒980-8574 仙台市青葉区薬師1-1 TEL: 022-717-7165 FAX: 022-717-7497
HP: <http://www.rh.med.tohoku.ac.jp/> E-mail: hf460715@yahoo.co.jp

5. 学会参加報告 (第 75 回 日本血液学会学術集会)

2013 年 10 月 11 日 (金) ~13 日 (日) の 3 日間, 札幌市で開催された第 75 回日本血液学会学術集会 (JSH2013) に, 当科から下記の演題を発表致しました.

【シンポジウム】

- 張替 秀郎 先生 (SY6-3)
Heme metabolism and anemia

【一般口演】

- 小林 匡洋 先生 (OS-1-2)
Iron deficiency anemia involves reconfiguration of erythropoiesis by heme receptor Bach1
- 池田 喬司 君〔医学部 6 年生〕 (OS-1-4)
Regulation of hepcidin transcription by K-7174
- 氷室 真仁 先生 (OS-1-54)
The efficacy of consolidation radioimmunotherapy in patients with relapsed indolent B cell lymphoma
- 岡本 浩二 君〔医学部 4 年生〕 (OS-2-2)
Effect of 5-aminolevulinic acid (ALA) on erythroid cells
- 井上 あい 先生 (OS-2-4)
Elucidation of the role of LIM domain only 2 (LMO2) in human primary erythroblasts
- 亀岡 淳一 先生 (OS-3-11)
The causes of macrocytic anemia in 933 patients: MCV 115 as a marker of authentic macrocytic anemia
- 加藤 浩貴 先生 (OS-3-74)
Addition of oral cyclophosphamide is effective for myeloma refractory to lenalidomide/dexamethasone
- 市川 聡 先生 (OS-3-147)
Clinicopathological analysis of primary adrenal diffuse large B-cell lymphoma
- 那須 健太郎 先生 (OS-3-183)
Monitoring EBV reactivation in severe aplastic anemia treated with rabbit ATG

【ポスターセッション】

- 大西 康 先生 (PS-1-346)
Amelioration of pulmonary artery hypertension after cord blood transplantation in a CAEBV patient
- 鴨川 由起子 先生 (PS-2-372)
Progressive multifocal leukoencephalopathy by JCV in a PCL patient treated with bor/len/dex therapy
- 近藤 愛子 先生 (PS-2-207)
A case of B lymphoblastic leukemia/lymphoma with complex karyotype involving t(14;18)(q32;q21)

6. 日本リウマチ学会東日本地方会開催のご案内

このたび第23回日本リウマチ学会北海道・東北支部学術集会を、当科主催で張替秀郎教授が会長になられ、下記の日程で開催させていただくことになりました。

- 会期：平成25年11月16日(土)・17日(日)
- 会場：フォレスト仙台（仙台市青葉区柏木1-2-45）
- 総会ホームページ：<http://www2.convention.co.jp/jcr23sendai/>

学術集会プログラムは、一般講演51題と、リウマチ診療の第一人者である講師の先生方をお招きして特別講演3題、ランチオンセミナー1題、シンポジウム2題を予定しております。当科からは、以下の演題発表を予定しております。

【シンポジウム】

- 斎藤 真一郎 先生
シンポジウム1：『関節リウマチと地域医療連携』「宮城リウマチ・膠原病診療ネットワークの構築」

- 藤井 博司 先生

シンポジウム2：『臓器障害を持つ関節リウマチに対する治療』 「メトトレキサート関連リンパ増殖性疾患－当科の経験より」

【一般演題】

- 高田 菜生子 先生（研修医）

「皮膚潰瘍・偽性血小板増多をきたしたシェーグレン症候群に伴うクリオグロブリン血症性血管炎の一例」

- 福井 玲矛 先生（研修医）

「潰瘍性大腸炎に対してメサラジン・インフリキシマブ投与中に SLE を発症した1例」

- 平賀 裕章 君（6年生）

「筋壊死による著明な高 CPK 血症を伴った顕微鏡的多発血管炎の一例」

本会北海道・東北支部は約 800 名のリウマチ診療医によって構成され、例年 200～300 名の整形外科，内科，病理など幅広い分野の先生方が参集されます。活発なディスカッションを繰り広げる会であり、日進月歩のリウマチ学における最新情報を取得することができる貴重な生涯教育の場となっています。先生方、皆様もご参加いただけると幸いです。



7. 当科業績紹介 (2013 年上半期)

2013 年 4 月～9 月に当教室および共同研究教室より報告された論文を紹介いたします。

- Fujiwara T, Okitsu Y, Katsuoka Y, Fukuhara N, Onishi Y, Ishizawa K, Harigae H.
Expression profiling of ETO2-regulated miRNAs in erythroid cells: possible influence on miRNA abundance.
FEBS Open Bio. [In press]
- Fujiwara T, Ikeda T, Nagasaka Y, Okitsu Y, Katsuoka Y, Fukuhara N, Onishi Y, Ishizawa K, Ichinohasama R, Tomosugi N, Harigae H.
A Low-Molecular-Weight Compound K7174 Represses Hepcidin: Possible Therapeutic Strategy against Anemia of Chronic Disease.
PLoS One. 2013 Sep 27;8(9):e75568.
- Inoue A, Fujiwara T, Okitsu Y, Katsuoka Y, Fukuhara N, Onishi Y, Ishizawa K, Harigae H.
Elucidation of the role of LMO2 in human erythroid cells.
Exp Hematol. 2013 Sep 13. doi:pii: S0301-472X(13)00706-6. 10.1016/j.exphem.2013.09.003.
[Epub ahead of print]
- Yang Z, Fujii H, Mohan SV, Goronzy JJ, Weyand CM.
Phosphofructokinase deficiency impairs ATP generation, autophagy, and redox balance in rheumatoid arthritis T cells.
J Exp Med. 2013 Sep 16. [Epub ahead of print] doi:10.1084/jem.20130252
- Fujiwara T, Harigae H.
Pathophysiology and genetic mutations in congenital sideroblastic anemia.
Pediatr Int. 2013 Sep 4. doi: 10.1111/ped.12217. [Epub ahead of print]
- Ichikawa S, Saito K, Suzuki T, Kimura J, Harigae H.
Primary Retroperitoneal Diffuse Large B-cell Lymphoma Presenting with Numb Chin Syndrome and Painful Ophthalmoplegia.
Intern Med. 2013;52(16):1813-9.

- Kaneko K, Furuyama K, Fujiwara T, Kobayashi R, Ishida H, Harigae H, Shibahara S.
Identification of the novel erythroid-specific enhancer for ALAS2 gene and its loss-of-function mutation associated with congenital sideroblastic anemia.
Haematologica. 2013 Aug 9. [Epub ahead of print]
- Ichikawa S, Fukuhara N, Inoue A, Katsushima H, Ohba R, Katsuoka Y, Onishi Y, Yamamoto J, Sasaki O, Nomura J, Fukuhara O, Ishizawa K, Ichinohasama R, Harigae H.
Clinicopathological analysis of primary adrenal diffuse large B-cell lymphoma: effectiveness of rituximab-containing chemotherapy including central nervous system prophylaxis.
Exp Hematol Oncol. 2013 Aug 2;2(1):19. doi: 10.1186/2162-3619-2-19.
- Shirai T, Fujii H, Saito S, Ishii T, Yamaya H, Miyagi S, Sekiguchi S, Kawagishi N, Nose M, Harigae H.
Polyarteritis nodosa clinically mimicking nonocclusive mesenteric ischemia.
World J Gastroenterol. 2013 Jun 21;19(23):3693-8. doi: 10.3748/wjg.v19.i23.3693.
- Nakamura K, Nakayama M, Kawano M, Amagai R, Ishii T, Harigae H, Ogasawara K.
Fatricide of natural killer cells dressed with tumor-derived NKG2D ligand.
Proc Natl Acad Sci U S A. 2013 Jun 4;110(23):9421-6.
- Kato H, Onishi Y, Okitsu Y, Katsuoka Y, Fujiwara T, Fukuhara N, Ishizawa K, Takagawa M, Harigae H.
Addition of clarithromycin to lenalidomide/low-dose dexamethasone was effective in a case of relapsed myeloma after long-term use of lenalidomide.
Ann Hematol. 2013 Apr 28. [Epub ahead of print]

